

# 新城市民病院 病院だより

第60号

新城市民病院総務課  
新城市字北畑32-1  
Tel 0536-23-7852  
Fax 0536-22-2850

## 第3回病院祭

# こころの交流会開催

## 開会式は和太鼓演奏

今回で3回目となる「こころの交流会」を11月5日土に開催しました。開会式では川路わっぱ太鼓による子供たちの和太鼓演奏が行われました。

その後は軽トラ市のマスコットキャラクターの「のんすけ」たちが来院者を出迎えました。院内は普段とは全く違い、テーマパークのような様子となりました。



## 盛りだくさんのイベント

各部署が様々な楽しいイベントをご用意しました。

内視鏡室や手術室、放射線課では本物の医療機器などを使った仕



リハビリ課

事体験を、リハビリ課や検査課、健診センターでは体力測定や骨密度、血管年齢測定を行いました。また、地域に出向いて行っている健康講



内視鏡

座を院内で行い、6名の医師による講話を多くの方が聴き入っていました。



健康講座



ピエロの風船アート

その他にもピエロが風船アートを作ったり、ピエロの風船アート、おしゃべりしたり、お子さんに白衣を着てもらって記念撮影する子供スタジオオーナーや救急救命士によるAED体験など、さまざまなイベント



くじ引き大会



クッキー販売：レインボーはうすさん

また、市内の飲食店がカレーやパン、クッキー、五平餅を販売し、コーヒーとジュースを無料でサービスしました。

こころの交流会の締めはくじ引き大会

です。総合受付前が人で埋まるほど多くの方が集まりました。くじ引きが始まると院内は歓声とため息が入り混じり、大盛況のうちに閉幕となりました。職員と市民の笑顔があふれる「こころの交流会」となりました。



北剣連による踊り

# 冬に起こりやすい 低温やけど

気温もぐっと下がり、暖房器具が欠かせない時期になりました。使い捨てカイロや湯たんぽ、ホットカーペット、コタツなど、寒さ対策として何気なく使っている暖房器具が、使い方によっては「低温やけど」を引き起こす原因となりますので注意が必要です。



## ・低温やけどとは

やけどは火や熱湯などの高温によるものばかりではありません。「熱い」ではなく「温かい」と感じる温度でも、体の同じ場所を長い時間温めていると低温やけどになる恐れがあります。

疲れが溜まっていたり、飲酒したときなど、気がつく頃コタツの中やホットカーペットの上で眠り込んでいることはありませんか？



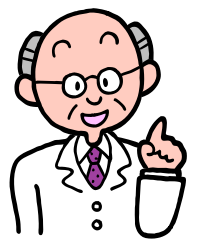
低温やけどはその名のとおろし、低い温度でゆっくりと進行してしまいます。熱さや痛みなどを感じないまま、気がついたときには皮膚の深部まで達するようにな

けどになっていることがあります。

体の中で比較的感覺が鈍いとされているのが脚

です。冷え性でお悩みの女性や高齢者、糖尿病の方など、皮膚の感覚が鈍くなっている方は低温やけどを起こしやすいといわれています。また、体の不自由な方や乳幼児などは、皮膚に異常を感じても自ら対処できないことがあります。

低温やけどを防ぐためには本人はもちろん、周囲の人が注意を払ってあげることが大切です。



## ・予防法



### ①直接肌に触れないようにする

・使い捨てカイロは衣類の上に貼る

### ②長時間使用しない

・長時間同じ場所を温めず、暖房器具等の注意書きにある使用時間を必ず守る

### ③熱源を押し付けない

・湯たんぽなどは脚を押し付けるように乗せない

・使い捨てカイロを貼った部分にサポートなどを重ねて圧迫しない

・靴下用カイロは靴を脱いだらはずす

# 院内にクリスマス飾り

今年も消化器科・外科外来の前にクリスマス飾りを展示しています。来院の際はぜひご覧ください。



# いきいきけんこうフラダンス

11月17日(木)、講義室でフラダンス・ボランテアによる「いきいきけんこうフラダンス」が行われ、入院患者さんたちに楽しんでいただけました。

